

第 398 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 30 年 12 月 13 日 (木) 13 時 30 分～16 時 30 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

(審議事項)

- (1) IASB ディスカッション・ペーパー「資本の特徴を有する金融商品」へのコメントの検討
- (2) 修正国際基準公開草案第 6 号 (IFRS 第 16 号「リース」等を対象とするエンドースメント手続による修正国際基準の改正案) に寄せられたコメントへの対応
- (3) 公正価値測定に関するガイダンス及び開示の検討
- (4) 基準諮問会議からのテーマ提言への対応
- (5) 専門委員の選退任

(報告事項)

- (1) IFRS 解釈指針委員会のアジェンダ決定案「IFRS 第 15 号『顧客との契約から生じる収益』一約束した財又はサービスの評価」等へのコメント

IV. 議事概要

(審議事項)

- (1) IASB ディスカッション・ペーパー「資本の特徴を有する金融商品」へのコメントの検討

小賀坂副委員長及び板橋ディレクターより、IASB ディスカッション・ペーパー「資本の特徴を有する金融商品」の提案に対する対応について説明がなされ、第 77 回 ASAF 対応専門委員会 (平成 30 年 11 月 14 日開催) 及び第 78 回 ASAF 対応専門委員会 (平成 30 年 11 月 26 日開催) における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- (2) 修正国際基準公開草案第 6 号 (IFRS 第 16 号「リース」等を対象とするエンドースメント手続による修正国際基準の改正案) に寄せられたコメントへの対応

小賀坂副委員長及び板橋ディレクターより、修正国際基準公開草案第 6 号に寄せられたコメントへの対応について説明がなされ、第 45 回 IFRS のエンドースメントに関する作業部会 (平成 30 年 11 月 8 日開催) における検討状況も踏まえ、審議が行われた。審議の結果、可能であれば、次回以降の委員会において改正修正国際基準の公表承認に関する審議を行いたい旨が説明された。

- (3) 公正価値測定に関するガイダンス及び開示の検討

小野委員長及び熊谷アシスタント・ディレクターより、時価の定義及びガイダンスについて、投資信託の時価算定、四半期開示に関する検討、適用時期及び経過措置の検討、企業会計基準及び企業会計基準適用指針の文案、金融商品の時価等の開示に関する適用指針の改正案、金融商品会計基準の改正案、金融商品実務指針の改正案、金融商品会計に関する Q&A の改正案、その他の基準の改正案、コメントの募集及び公開草案の概要等について説明がなされ、第 138 回 金融商品専門委員会 (平成 30 年 12 月 3 日開催) における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- (4) 基準諮問会議からのテーマ提言への対応

川西常勤委員より、第 397 回企業会計基準委員会 (平成 30 年 11 月 29 日開催) において、基準諮問会議から当委員会に対してテーマ提言があった『見積りの不確実性の発生要因』及び『関

連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続』に関する注記情報の充実」への対応について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、ASBJの新規テーマとして取り上げることが承認された。

(5) 専門委員の選退任

小野委員長より、企業結合専門委員会の専門委員の退任案について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、原案の通り承認され、退任の手続を行うこととされた。

(報告事項)

(1) IFRS 解釈指針委員会のアジェンダ決定案「IFRS 第 15 号『顧客との契約から生じる収益』一約束した財又はサービスの評価」等へのコメント

資料の提示をもって報告するものとされた。

以 上